

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日更新

事務事業名	小中学校分離新設校建設事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 右田 純司
	施策	9	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名 上村 祐一郎
	施策の柱	36	義務教育施設の整備		所属班	総務施設班	(内線) 2212
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番 11671	根拠法令	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 ~ 32 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市南部の宅地開発等により、児童生徒数の増加が著しく、一部では1,000人を超える学校もあり、小中学校の分離新設が必要になったため、新たに事務事業を作成する。 主なスケジュールとしては、H27に行政区毎に生徒児童数推移の把握を行う。→H28に校区決定、公民連携 (PPP/PFI) 支援 (アドバイザー) 業務委託→H29に公民連携 (PPP/PFI) 事業者決定、設計→H30に用地取得、造成工事→H31~H32に建設工事→H33.4開校の予定。
【業務の流れ】	主なスケジュールとしては、H27に行政区毎に生徒児童数推移の把握を行う。→H28に校区決定、公民連携 (PPP/PFI) 支援 (アドバイザー) 業務委託→H29に公民連携 (PPP/PFI) 事業者決定、設計→H30に用地取得、造成工事→H31~H32に建設工事→H33.4開校の予定。
【主な予算費目】	公民連携 (PPP/PFI) 支援 (アドバイザー) 業務委託 (40,000千円:債務負担)、用建設予定地管理業務委託料 (4,883千円) は見積もりによる。
【意見や要望】	以前から市議会でも児童生徒数増加への対応の質問がされている状況。平成27年5月20日開催の市議会全員協議会で、市より分離新設校の説明がされた。翌日に新聞報道あり。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	校区の決定を行い、建設方式を公民連携 (PPP/PFI) 方式に決定し、公民連携 (PPP/PFI) 支援業務 (アドバイザー) 委託契約を行った。また、建設予定地 (国有地) において、審議会で合志市への売払いが適当との結果になり、用地取得に向け前進した。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 公民連携事業 (PPP/PFI) において事業者決定を行う予定。また、建設予定地 (国有地) において、審議会で合志市への売払いが適当との結果がでたため、財務局と管理契約を行い、市において管理することになる。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア: 児童生徒数 イ: 小中学校数	予算の主な増減の理由 公民連携支援 (アドバイザー) 業務委託料の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 児童生徒数及び小中学校数	(単位) 人 ア: 児童生徒数 イ: 小中学校数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 児童生徒数 イ: 小中学校数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適正な学校規模にする	(単位) 人 ア: 児童生徒数 イ: 小中学校数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 児童生徒数 イ: 小中学校数
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~32年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア 人		6,192	6,400	6,365	6,600	6,800	7,000	7,200	
	イ 校		10	10	10	10	10	10	0	
			6,192	6,400	6,365	6,600	6,800	7,000	7,200	
② 対象指標	ア 人		6,192	6,400	6,365	6,600	6,800	7,000	7,200	
	イ 校		10	10	10	10	10	10	0	
			6,192	6,400	6,365	6,600	6,800	7,000	7,200	
③ 成果指標	ア 人		6,192	6,400	6,365	6,600	6,800	7,000	7,200	
	イ 校		10	10	10	10	10	10	0	
			6,192	6,400	6,365	6,600	6,800	7,000	7,200	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円						390,000	910,000
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円					950,000	1,340,000	3,130,400
		その他	千円							
		繰入金	千円						360,000	840,000
	(A) 事業費計	一般財源	千円	7,560	43,969	334	43,046	50,000	30,000	70,000
		(A)のうち指定経費	千円	7,560	43,969	334	43,046	1,000,000	2,120,000	4,950,400
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	5	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	600	800	1,030	1,000	1,000	1,000	1,000
	(B) 人件費計	千円	2,227	3,187	0	3,984	3,984	3,984	3,984	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,787	47,156	334	47,030	1,003,984	2,123,984	4,954,384	

事務事業名	小中学校分離新設校建設事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 今年度に公民連携事業者を決定するため、2箇年度の債務負担を設定し、公民連携支援（アドバイザー）業務委託を行った。次年度に公民連携事業者を決定する予定。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 公民連携（PPP）により事業費の削減が考えられる
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 外に方法が無く妥当である
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 公民連携（PPP）により事業費の削減が考えられる
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 公民連携（PPP）により事業費の削減が考えられる
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校は公共施設であり適正である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 学校建設は市で行うべきであり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

昨年度から分離新設校建設に向けて準備委員会を設立し、校区について検討を重ね、今年度に校区を決定した。また、建設予定地も財務局審議会で合志市への売払いが適当との結果になり、用地取得に向けて前進した。次年度は建設に向けて公民連携事業者を決定し、設計に入る予定。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						